

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年2月13日

上場会社名 林兼産業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2286 URL <https://www.hayashikane.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中部 哲二  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 金子 岳夫 (TEL) 083-266-0210  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	33,605	4.8	541	△48.2	634	△47.2	404	△46.9
2022年3月期第3四半期	32,069	—	1,043	0.1	1,201	△3.6	761	△41.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 461百万円(△37.5%) 2022年3月期第3四半期 737百万円(△52.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	45.92	—
2022年3月期第3四半期	86.69	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。このため、2022年3月期第3四半期の売上高の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	30,790	10,111	32.8
2022年3月期	26,492	9,768	36.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 10,111百万円 2022年3月期 9,768百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	15.00	15.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△1.0	250	△65.7	350	△61.8	300	△57.6	34.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	8,910,000株	2022年3月期	8,910,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	88,133株	2022年3月期	117,523株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	8,810,116株	2022年3月期3Q	8,782,866株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、ウィズコロナ下での行動制限緩和や政府の観光支援政策などにより、景気に回復の兆しが見え始めました。しかしながら、食品業界におきましては、ウクライナ情勢の長期化や円安により原材料価格やエネルギーコストが高騰するなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは昨年4月から「中期経営計画<挑戦>Phase II <<challenge2024>>」(2023年3月期~2024年3月期)をスタートさせました。前中期経営計画に引き続き、変化を恐れぬ挑戦を継続し、経営資源の更なる選択と集中による構造改革を推し進めて収益力をより強固なものにするとともに、環境負荷の軽減(温室効果ガス排出量削減や地球温暖化対策)に努めるなど、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献することを目指しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、外食需要の回復に伴う食肉加工品の販売数量増加、および原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応するために行った食品・飼料の価格改定により、336億5百万円(前年同期比4.8%増加)となりました。しかしながら、損益面におきましては、価格改定が原価の高騰分に追い付かず、また、前連結会計年度に行ったグループ再編の影響もあり、営業利益は5億41百万円(前年同期比48.2%減少)、経常利益は6億34百万円(前年同期比47.2%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億4百万円(前年同期比46.9%減少)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「機能・食品事業」としていた報告セグメントの名称を「食品事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

#### ①食品事業

機能性食品におきましては、機能性食品素材エラスチンの海外向け販売数量が増加したことにより、増収となりました。

魚肉ねり製品におきましては、海外向けの販売数量が落ち込んだことにより、減収となりました。

ハム・ソーセージ等食肉加工品におきましては、価格改定や外食需要の回復に伴う販売数量増加により、増収となりました。

肉類におきましては、飼料価格の高騰などに対応するため自社ブランド「霧島黒豚」および国産豚の価格改定を行ったことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は179億38百万円(前年同期比6.9%増加)となりました。損益面におきましては、価格改定が原価の高騰分に追い付かず、セグメント利益(営業利益)は4億1百万円(前年同期比10.8%減少)となりました。

#### ②飼料事業

養魚用飼料ならびに畜産用飼料におきましては、原材料価格高騰に対応した価格改定により増収となりました。

水産物におきましては、取り扱い量が減少したことにより、減収となりました。

これらにより、売上高は156億35百万円(前年同期比12.9%増加)となりました。損益面におきましては、価格改定が原価の高騰分に追い付かず、セグメント利益(営業利益)は8億80百万円(前年同期比23.3%減少)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は307億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億97百万円増加しました。流動資産の増加（前連結会計年度末比44億65百万円増加）は、主に受取手形及び売掛金が44億86百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の減少（前連結会計年度末比1億68百万円減少）は、主に投資有価証券が1億49百万円増加したものの、有形固定資産が3億6百万円減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は206億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億54百万円増加しました。流動負債の増加（前連結会計年度末比40億40百万円増加）は、主に買掛金が31億45百万円、短期借入金が5億73百万円増加したことなどによるものであり、固定負債の減少（前連結会計年度末比86百万円減少）は、主に長期リース債務が1億58百万円減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は101億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億43百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を4億4百万円計上したことなどによるものです。この結果、自己資本比率は32.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、原材料価格やエネルギーコストの高騰など依然として厳しい経営環境が続くと考えられます。

こうしたなか、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は概ね予想どおり推移していることから、2022年5月13日に発表した通期の業績予想に修正はありません。

今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,952,350	2,127,635
受取手形及び売掛金	4,261,540	8,748,106
商品及び製品	2,103,667	1,944,215
仕掛品	2,152,107	1,846,692
原材料及び貯蔵品	2,077,465	2,145,687
その他	884,874	1,040,045
貸倒引当金	△46,663	△1,297
流動資産合計	13,385,341	17,851,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,852,745	2,763,210
土地	3,037,357	3,037,357
その他(純額)	2,868,268	2,651,009
有形固定資産合計	8,758,371	8,451,578
無形固定資産	14,221	58,348
投資その他の資産		
投資有価証券	3,600,354	3,749,817
その他	1,708,782	1,634,830
貸倒引当金	△974,619	△955,618
投資その他の資産合計	4,334,517	4,429,029
固定資産合計	13,107,110	12,938,956
資産合計	26,492,452	30,790,042
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,284,251	5,429,518
短期借入金	6,459,174	7,032,691
未払法人税等	37,515	99,927
賞与引当金	251,590	134,550
資産除去債務	111,400	—
その他	1,877,278	2,365,280
流動負債合計	11,021,209	15,061,968
固定負債		
長期借入金	1,839,478	1,836,574
退職給付に係る負債	1,885,531	1,929,384
その他	1,978,046	1,850,444
固定負債合計	5,703,056	5,616,404
負債合計	16,724,265	20,678,372

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415,020	3,415,020
資本剰余金	6,617	2,981
利益剰余金	5,515,080	5,785,947
自己株式	△78,377	△58,794
株主資本合計	8,858,339	9,145,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	876,327	960,534
繰延ヘッジ損益	7,771	△18,027
退職給付に係る調整累計額	25,747	24,008
その他の包括利益累計額合計	909,846	966,514
純資産合計	9,768,186	10,111,670
負債純資産合計	26,492,452	30,790,042

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	32,069,300	33,605,287
売上原価	27,044,273	29,633,376
売上総利益	5,025,027	3,971,911
販売費及び一般管理費	3,981,197	3,430,876
営業利益	1,043,830	541,035
営業外収益		
受取配当金	96,723	83,090
その他	170,859	139,980
営業外収益合計	267,582	223,071
営業外費用		
支払利息	95,522	86,930
為替差損	—	30,740
その他	14,258	12,303
営業外費用合計	109,781	129,975
経常利益	1,201,631	634,131
特別利益		
受取保険金	—	14,361
その他	17,161	1,843
特別利益合計	17,161	16,204
特別損失		
投資有価証券評価損	32,745	—
災害による損失	—	54,781
その他	4,961	9,260
特別損失合計	37,707	64,041
税金等調整前四半期純利益	1,181,085	586,294
法人税、住民税及び事業税	310,432	140,826
法人税等調整額	51,353	40,867
法人税等合計	361,786	181,694
四半期純利益	819,299	404,600
非支配株主に帰属する四半期純利益	57,940	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	761,359	404,600

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	819,299	404,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80,391	88,773
繰延ヘッジ損益	△1,448	△25,799
退職給付に係る調整額	503	△1,739
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△4,565
その他の包括利益合計	△81,329	56,668
四半期包括利益	737,969	461,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	677,112	461,268
非支配株主に係る四半期包括利益	60,857	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,785,886	13,846,619	30,632,506	1,436,793	32,069,300
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,973	1,274,136	1,281,109	423,407	1,704,517
計	16,792,860	15,120,756	31,913,616	1,860,201	33,773,817
セグメント利益	450,291	1,148,420	1,598,711	148,256	1,746,967

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,598,711
「その他」の区分の利益	148,256
セグメント間取引消去	10,897
全社費用(注)	△714,034
四半期連結損益計算書の営業利益	1,043,830

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,938,527	15,635,066	33,573,593	31,693	33,605,287
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	1,615,127	1,615,128	—	1,615,128
計	17,938,528	17,250,193	35,188,722	31,693	35,220,415
セグメント利益	401,533	880,867	1,282,401	24,568	1,306,970

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,282,401
「その他」の区分の利益	24,568
セグメント間取引消去	1,240
全社費用(注)	△767,175
四半期連結損益計算書の営業利益	541,035

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

## 3. 報告セグメントの変更に関する情報

第1四半期連結会計期間より、従来「機能・食品事業」としていた報告セグメントの名称を「食品事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。